

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日作成

事務事業名		水道事業経理事務			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	水道局	課長名	久留 伸二				
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	上下水道課	担当者名	緒田 友一				
	基本事業	16	快適な住環境の整備		所属班	庶務料金班	(内線)	1173				
法令根拠		地方公営企業法										
予算科目	会計	90	款	11	項	1	目	5	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和37 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果		6			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
【事業の内容】 地方公営企業法及び関係法令に基づき水道事業を健全に経営するため、業務予定量及びこれに関する収入・支出の大纲を定め予算を編成し、水道事業会計の経理を行い、決算を調製する。												
【業務の流れ】 ①水道事業会計における調定・支払事務に伴う、日次・月次・年次の処理及び財務諸表の作成する。②毎事業年度終了後、2ヵ月以内に決算を調製し、市長へ提出する。③一般会計予算の編成方針・要領等を踏まえ、水道事業会計の次年度予算を作成する。												
【主な予算費目】収益的支出…総係費(旅費・負担金以外)、減価償却費、資産減耗費、営業外費用、特別損失、予備費 資本的支出…備消耗品費(量水器関係以外)												

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 調定・支払事務、日次・月次報告、財務諸表作成	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 水道事業会計	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 伝票処理件数 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 健全に経営するため、正確かつ適切に処理する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 正確に処理した伝票の件数 ⇒ イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 快適な住環境で暮らすことができる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 伝票を正確に処理した件数の割合 ⇒ イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 水道普及率 ⇒ イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	544,434	849,072	800,539	735,597	455,378	460,400		465,400
		繰入金	千円	131	2,122	3,267	1,822	1,630	1,630		1,630
	一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	544,565	851,194	803,806	737,419	457,008	462,030	467,030		0
	うち指定経費	千円	537,370	845,075	789,005	728,358	449,189	454,200	459,200		
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	人件費	(B) 人件費計	千円	11,910	12,593	12,593	16,203	15,920	15,920		15,920
トータルコスト(A)+(B)	千円	556,475	863,787	816,399	753,622	472,928	477,950	482,950	0		
活動指標	ア イ	件	5,832	6,310	6,280	5,749	5,730	5,730	5,730	目標合計 数計画 22 年度	
対象指標	ア イ	件	5,771	6,287	6,280	5,725	5,730	5,730	5,730		
成果指標	ア イ	%	98.95	99.64	100	99.58	100	100	100		
上位成果指標	ア イ	%	96.8	96.9	96.9	97	96.9	97	97		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
旧合志は、昭和37年度から、旧西合志は、昭和38年度から水道を計画的に整備し、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善のために事業開始時から行っている。また、旧西合志は、昭和42年度から、旧合志は、昭和51年度から地方公営企業法の適用を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
事業開始当初は、簡易水道事業のため特別会計だったが、給水人口の増加に伴い、上水道事業となったため、地方公営企業法を適用するようになった。また、合併に伴い、事務量が增大した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	水道事業経理事務	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の「健全に経営するため、正確かつ迅速に処理する。」ことにより、結果の「快適な住環境で暮らすことができる。」に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 市が水道事業を行わなければ快適な住環境で暮らすことが出来なくなる。また、それに変わる事業者が無い。(税金⇒水道料金等)
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 伝票処理時の再確認が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 水道事業が無くなれば、住民は快適な住環境で暮らすことができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業なし <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 最小限の予算・人員のため削減の余地がない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 最小限の人員のため削減の余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ すべての水道使用者に受益機会があるため公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、伝票処理時の再確認が必要であるため、成果の向上余地があると考えられる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・伝票処理時の再確認が必要である。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・伝票処理時の再確認が必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)